

資産運用レポート：サンドラッグの売買

1 はじめに

下図は東京西部を地盤としてドラッグストアを展開しているサンドラッグ（9989）の株価チャートです。

私は1997年2月から2001年11月にかけて、サンドラッグ株を1,600株買い付けました（株式分割修正済）。投資額は588,000円。買付単価は367.5円です。

5月17日終値は2,668円。2018年の高値よりかなり下げているとは言え、同社株を持ち続けていれば4,268,800円（含み益3,680,800円）となる計算です。これは投資額の7倍強に当たり、投資としては大成功の部類に入ります。

しかしながら、サンドラッグ株で得た利益は、たった452,000円でした。2倍にもなっていません。なぜ、儲け損なってしまったのでしょうか？

今となっては、その理由は明らかです。銘柄選択（ファンダメンタル分析）はできていたにもかかわらず、売買技術（テクニカル分析）が伴っていなかったからです。

今回の資産運用レポートでは、サンドラッグの売買に関して「なにがどう下手だったのか」を自己分析してみます。他山の石としていただければ幸いです。

★サンドラッグ 月足チャート（上場来）



出典：<https://bigcharts.marketwatch.com/>